

2009 プチ耐久 特別規則書 ver.2

基本規則は「K耐久 / GT耐久東海シリーズ」に準じますが、「K耐久 / GT耐久東海シリーズ」と異なる点は太字で記載してあります。(ver.2 にてリレークラスの規定を追加(下線部))

【プチ耐久の主な特徴】

ドライバー数	2～6名の間で自由に設定できます。
練習走行付き	<ul style="list-style-type: none"> ・10分間のプチ練習走行タイムがあります。 ・練習走行は同乗走行もOKです。 ・練習走行は予選を兼ねないので、ゆっくりと車両確認・コース確認ができます。
3台の車で参加可能	<ul style="list-style-type: none"> ・3台の車で参加できる「リレークラス」を設定。 ・3台の車はプチ耐久のレギュレーションに合致していれば、排気量がバラバラでもOK。 ・各自のクルマで気兼ねなく、でも耐久の雰囲気を感じたい人に最適です。
決勝グリッド	<ul style="list-style-type: none"> ・決勝のグリッドは申し込み順(「参加申込」の項目参照)とします。練習走行は予選ではありませんのでフルアタックする必要はありません。
義務ピットインとピット時間ハンディー	<ul style="list-style-type: none"> ・120分の中に2回の「義務ピットイン」を行わないといけません。 ・クラスごとに「義務ピットイン」停止時間を変えます。基準は4分ですが、排気量の小さいクラスほど短い設定になっており、総合順位を争える設定です。 ・2回の義務ピットインを消化すれば、残りのピットインは短時間でもOKです。
総合順位表彰もアリ	<ul style="list-style-type: none"> ・基本は各クラスごとに表彰があります。 ・が、ピット時間ハンディーで総合順位も争える設定になっていますので、総合順位表彰も行います。
普通車はクラスを統合	<p>ヴィッツ、マーチなどの1クラスと、スターレット、スイフトなどの2クラスを統合して同クラス(「1+2クラス」とします。ただし1クラスに該当するチームはピット時間短縮のハンディーを設けます。また、「1+2クラス」はオープン、クローズドのクラス分けはありません。</p>
改造ハンディーなし	<p>改造内容によるピット停止時間のハンディーは一切ありません。改造による区分けは、「オープン」と「クローズド」のみです。(「1+2クラス」はオープン、クローズドの区分け無し)</p>

【大会規則】

不適合・不備があった場合は走行できませんので十分にご注意下さい。

開催日程・場所	<p>2009年11月8日(日) 開催場所は「スバ西浦モーターパーク」</p>
参加資格	<ol style="list-style-type: none"> 1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 主催者が認めるドライバー。
参加車両	参加車両は別項の「車両規則」に合致した車両であること。(リレークラス参加車両も)
参加申込	<ol style="list-style-type: none"> 1. 申込受付期間 10月1日(木)～20日(火) 2. 申込方法 <ul style="list-style-type: none"> ・必要書類(「プチ耐参加申込書」と「プチ耐車両申告書」)に必要な事項を記載の上、下記の「運営事務局」までFAX、e-mail、又は郵送で送付すること。 <li style="padding-left: 40px;">必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ・参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振り込みで送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース チーム代表者と別名義で入金する場合は必ず事務局までその旨を伝えること 振込手数料は参加者負担とする 3. 申し込みの成立 参加費用の振り込みをもって正式申込みと見なす。募集台数に達した場合は、正式申込みの順にて受理する。 4. キャンセル 申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 申込終了から受理書発送までの間のキャンセルは、エントリー代の20%を差し引き返金する。 受理書発送後のキャンセルはできない。 予選は行わないためグリッドは「1番グリッドから、普通車の申込順」で並び、その後ろに「軽自動車の申込順」で並び、 指定ピットの位置は、1コーナー側からグリッド順に割り振る。
参加費用	<p>29,400円(税込み) ロールケージ装着の有無で参加費用の変動なし</p>
参加人数	1チームあたり2～6名までのドライバーとする。

	登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする
クラスと義務ピット時間	<p>軽自動車</p> <p>「KNC」…軽自動車NA のクローズドクラス…1.5分 「KNO」…軽自動車NA のオープンクラス …2分 「KTC」…軽自動車ターボ のクローズドクラス…2.5分 「KTO」…軽自動車ターボ のオープンクラス …3分 「KWT」…軽自動車ワゴン&トラッククラス のオープンクラス …0分(一旦停止すればOK) 注1:KWTの該当車種は大会規則最後尾の別表参照</p> <p>普通車</p> <p>「1+2クラス」…「1000cc以下のNAと、1001~1500ccのNAと1200cc以下のターボ車」 このクラスはオープン、クローズドを含め一まとめとする。 義務ピット時間…2.5分 3.5分</p> <p>「3Cクラス」…「1501~2000ccのNAと1201~1500ccのターボ車」のクローズドクラス…3.5分 「3Oクラス」…「1501~2000ccのNAと1201~1500ccのターボ車」のオープンクラス…4分</p> <p><u>リレークラス</u> <u>下段参照</u></p> <p>全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ローターリーについては、2ローターNAは3クラス、2ローターターボは参加できない。 搭載してあるエンジン型式の、オリジナルの排気量でクラスを判断する。 オープン、クローズドの区分けについては車両規則を確認のこと。 スーパーチャージャーもターボと同解釈とする。 白ナンバー登録してある軽自動車は車両規則に該当するクラスにエントリーすること。</p>
リレークラスについて	<p>・リレークラスは必ず3台の車で参加すること</p> <p>・排気量は上のいずれかに属する車両であること</p> <p>・義務ピット時間は3台の平均値(0.5分刻みで切り上げ(平均3.3分の場合は3.5分))とする</p> <p>・第一走車がピットインする直前に、第二走車は指定ピットに来て待機すること。</p> <p>・第一走者が持って来たタイムカード(ピットインの項目参照)の時間を目途に、第二走車はピットアウトする。(第二走車 第三走車も同じ要領)</p> <p>・計測器は1つの物を使い回すため、ピットイン時に付け替えること。</p> <p>・走行を終えた車両はピット(屋根下)を通過してパドックに移動すること。</p> <p>・走行を終えてパドックに戻った車両は再び出走出来ない。</p> <p>・作業ピットインは認められる。(4人以上のドライバーを擁するチームのため…)</p> <p>・リレークラスの車両は、ゼッケン番号の後ろに、出走順を表す「-1」、「-2」、「-3」の数字を貼り付けること。(高さ12cm以上でゼッケンと同色)</p> <p>・リレークラス参加者は、車両申告書を3枚提出すること。</p> <p>グリッドの位置は主催者判断で決定する</p> <p>その他記載の無い事項については、主催者が公平性を考えた上で判断する。</p>
フリー走行、スタート方法等	<p>・フリー走行を実施するが、これは予選ではないので留意すること。</p> <p>・フリー走行終了後は一旦パドックスペースに戻ることに。</p> <p>・耐久スタートまでの間の給油は許される。</p> <p>・耐久のグリッド順は「1番グリッドから、普通車の申込順」で並び、その後に「軽自動車の申込順」で並び、グリッド順はピット順と同じ並びとなるので、公式通知を参照すること。</p> <p>スタート進行の要領</p> <p>コースイン後1周回って指定のグリッドに着く</p> <p>グリッド上ではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(必要時は人力でバックさせること)</p> <p>3分前ボード提示…ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する</p> <p>1分前ボード提示…ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する</p> <p>メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティーカーに先導されながら順列を保ったまま1周する。セーフティーカーがピットロードに入ったらローリングスタートでレース開始。ただし、前車を追い越して良いのは管制塔前の計測ラインから先となる。</p> <p>コースインの進行も含めて120分の決勝となるので留意すること。</p>
ピットイン	<p>ピットインは「義務ピットイン」と、「作業ピットイン」に分けられる。</p> <p>1)「義務ピットイン」について</p> <p>・2回の「義務ピットイン」をしなければならない。</p> <p>・「義務ピットイン」では、必ず「義務ピット時間」以上のピットストップをしなければならない。</p> <p>「義務ピット時間」は、上記「クラスと義務ピット時間」の項目を参照すること</p> <p>・車両の改造度合いによる、ピットストップ時間のハンディータイムは設けない。</p> <p>・「義務ピットイン」時の、ピットストップ時間の計り方は以下の通りとする。</p> <p>ピットロードに入って管制塔を通過したら左レーンに入り21番ピット前で停止する。</p> <p>21番ピット前で「開始時間」を書いた「タイムカード」をオフィシャルが発行し、ピットイン車両に渡す。</p> <p>「タイムカード」を受け取らなかった場合は「義務ピットイン」回数としてカウントされない</p> <p>指定ピットに移動して、給油等の作業を行う。(指定ピット場所は受理書送付と同時に案内)</p> <p>右の規則に違反があった場合はペナルティーを課します。</p>

	<p>ピットロードにいるタイム監視オフィシャルに「タイムカード」を渡しスタート指示を待つ。 「開始時間」からカウントしてピットストップ時間が経過したら、指定ピットからスタートすることが出来る。(オフィシャルがチェックする)</p> <p>2) 『作業ピットイン』について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『作業ピットイン』時は右側のピットロードを通行し、21番ピット前で「タイムカード」を受け取らず指定ピットに向かうこと。 ・『作業ピットイン』の回数は自由とし、ピットストップ時間も自由とする。 ・『作業ピットイン』時に出来る作業内容は、『義務ピットイン』と同じ。 ピットレーンではリバースギヤは絶対に使用してはいけない(人力でバックさせること) ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きに変えることは許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 作業が長時間に及ぶ場合は屋根下ピットに入れて作業すること。
給油	<p>右の規則に違反があった場合はペナルティーを課します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耐久走行中の給油は、必ず指定ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。 樹脂製のポリタンクの使用は禁止 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油者はフルフェイスヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを装着のこと。 (ジェットヘルの場合は耐火性フェイスマスクを着用すればOK) ・給油中はエンジンを必ず切ること。 ・給油中はドライバー交代(ベルト調整含む)以外の作業は全て禁止する。 (空気圧チェック、窓拭き、車載ビデオのバッテリー交換等も全て禁止) ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・水の入ったバケツをピットに置いておくこと。 ・消火器は粉末重量2.0Kg以上のものを1チームに1本持参すること。(車検時にチェックする) 給油作業の無いチームも消火器は必須
赤旗時の運営方法	<ul style="list-style-type: none"> ・競技中断の必要があるアクシデントが発生した場合は赤旗を提示してレースを一時中断する。 ・赤旗提示後は追い越し禁止。 ・赤旗が全ポストで提示されたら、全競技車両は追突に注意しながらすみやかに速度を落とし、スロー走行すること。 ・全車両はメインポスト横のスタートラインを先頭に、右側に寄ってストレート上に停車すること。 ・メインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためにもう1周回ってから停車すること。 ・「赤旗」(=「赤信号点滅」)が出たら、競技車両は以下の2通りの停止選択ができる。 コース上に残って競技再開を待つ方法 PITインしてピット又はピットレーンで競技再開を待つ方法 (ただし赤旗時のPITインは全て「作業ピットイン」扱いとなり「義務ピットイン」にはならないので注意すること) ・赤旗提示後のPITインは、全車「作業ピットイン」扱いとなるためタイムカードは配らない。 ・ストレート上で待機している車両は、競技中断中にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え(頭出し)を行う。コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、SCが先導して1周回って隊列の後方に移動する。(このタイミングで作業ピットインすることも可) ・競技再開時はSCが隊列を連れて先導し、最終コーナーに差し掛かったところでSCがピットインして競技再開となる。この時前車を追い越してよいのは、管制塔前の計測ラインから先とする。 ・SCがピットインした直後から、義務ピットインが再開する。 ・ピットロードに待機していた車両については、SCがピットインした後に隊列が全てストレートを通じたタイミングでピットエンドシグナルが青となり、コースインが出来る。 赤旗前に既にピットインしていた義務ピットイン車両は、そのまま義務ピットイン回数としてカウントされる。
コースアウト時の対処	<p>コースアウトしてレッカー移動された車両は、パドック最終コーナー側の洗車場に運ばれる。そこでジャリ、土を十分に落とした後に、コースインゲートよりピットロードに戻ることに。 ピットロード復帰時のピット作業は、『義務ピットイン』、『作業ピットイン』のどちらでも構わない。ドライバー交代、ピット作業は、必ず指定ピットで行うこと。</p>
装備品	<p>ドライバーは、「ヘルメット(SNELL規格又はJIS C種が望ましい)、グローブ(自動車ドライビング用で指先まで覆うもの)、厚手の長袖と長ズボン(レーシングスーツが望ましい)、運転に適したシューズ(レーシングシューズが望ましい)」を必着のこと。 レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上のものが望ましい。</p>
準備必須品	<p>各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を必ず準備しピットに常備すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消火器(粉末重量2.0Kg以上) ・バケツ
ゼッケン	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼッケンは各チームで準備すること。 ・ゼッケンは下記の4箇所に貼り付けること。 ボンネット 左右ドア リヤ ・書体はゴシック体とし、1文字の大きさは、 は高さ240mm以上、幅120mm以上、太さ30mm以上。 は高さ120mm以上、幅60mm以上、太さ15mm以上であること。 ・車体色に対して見えやすい色にすること。(ゼッケンが見えにくい車体色の場合は、白いゼッケンベースを貼り、その上に黒文字のゼッケンを貼る事)

	・希望ゼッケン番号は、東海シリーズに参戦している車両にはその番号の優先権が与えられる。参加歴の無いチームは申込み順に優先権を与える。																																										
窓の開閉	サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。ただしウインドウセーフティネット(レース用として販売されている物)を運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。																																										
順位の認定および完走の規定について	・順位認定は、コントロールライン上(ピットレーン上含む)でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 ・順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。同一周回の場合は、フィニッシュライン(ピットレーン上含む)通過順位によるものとする。 ・チェッカーを受けられなかった車両のうち、(各クラスごとの)優勝車両の走行周回数の70%以上を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 ・走行周回数が、(各クラスごとの)優勝車両の走行周回数の70%未満(端数切捨て)の車両は順位の認定を受けられない。(完走扱いとはならない)																																										
賞典	<p>クラス表彰 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>クラス参加台数</th> <th>1位</th> <th>2位</th> <th>3位</th> <th>4位</th> <th>5位</th> <th>6位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10台以上</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> </tr> <tr> <td>8～9台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6～7台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4～5台</td> <td>賞典</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3台以下</td> <td>賞典</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>賞典はトロフィーと副賞となる。</p> <p>総合表彰 総合1～3位のチームには、クラス表彰とは別に表彰を行う。 また飛び賞として、総合10位、20位、ブービーのチームには特別賞を進呈する。</p>	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	8～9台	賞典	賞典	賞典	賞典			6～7台	賞典	賞典	賞典				4～5台	賞典	賞典					3台以下	賞典					
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
8～9台	賞典	賞典	賞典	賞典																																							
6～7台	賞典	賞典	賞典																																								
4～5台	賞典	賞典																																									
3台以下	賞典																																										
シリーズポイント	当レースはK耐久/GT耐久東海シリーズのポイントは付かない。																																										
再車検	走行終了後に上位車両は再車検の指示が出る場合がある。 再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。 再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。																																										

注1) 「KWT(軽自動車ワゴン&トラック)クラス」に該当する車種は下記となる
このクラスはオープンクラスのみとなる。

スズキ	ワゴンR、パレット、エブリイ、キャリー、
ダイハツ	ムーヴ、タント、アトレー、ハイゼット
三菱	i(アイ)、タウンボックス、ミニキャブバン、ミニキャブトラック
その他のメーカー・車種では、以下の条件を満たすものを基本的にKWTクラスと見なす。 いわゆる軽トラック形状の車両、または メーカーカタログの全高が1600mm以上の車両 ただし下記のように例外もある	
ただし右記の車両はKWT クラスには該当しない	マイティーボーイ、アルトハッスル

該当車種についてご不明な点がございましたら事務局までご質問下さい。

注2) 「1+2,3C,3O クラスの該当車両について」

上記のクラスにおいては、以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、当該クラスには含まない(エントリー出来ない)ものとする。

- ・量産箱型車両とは著しく性能差があると判断される車・・・ロータスエリーゼ、エクシージ等
- ・箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等
- ・その他主催者が上記に属すると判断した車両

【車両規則】

K耐久 / GT耐久東海シリーズに準じますので、そちらのレギュレーションをご覧ください。
ただし下記に記載のある項目に関しては、本規則を優先します。

§ 安全関係

前後牽引フック

コースアウトしてジャリに埋まった際に牽引出来る位置に前後とも牽引フックを装着することを強く推奨する。牽引フックは赤・オレンジ・黄のいずれかに塗ること。
上記の位置に牽引フックが装着出来ない場合は、純正牽引フックやフレーム等にロープ等を結び付け、ロープを使って容易に牽引が出来るような措置を取ること。
ロープの端はバンパーにガムテープ等で貼り付けること。
ロープは牽引に耐える強度を有するものを使用すること。

牽引ロープ装着イメージ



不明な点がありましたら下記までご質問下さい。

【お問合せ先】

〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東 14-17

株GT CARプロデュース内「LightWeight&K - Car Festa in中部 事務局」

電話 0538-37-6677 FAX 0538-37-6678